

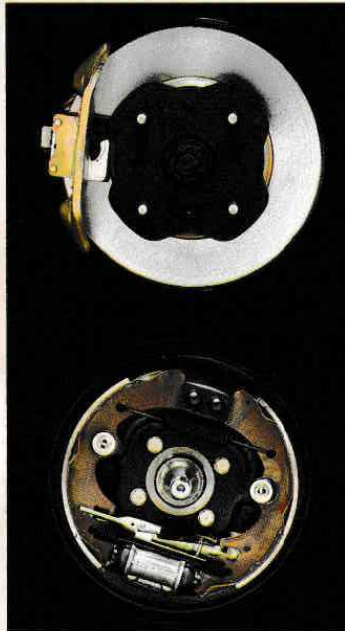
**Q-9** あれっ！開けっ時間を調節できるワイパーがついている

このワイパーは、無段開けつ式ワイパーと呼ばれています。操作のし方をご紹介しますと、①ワイパースイッチを“INT”のポジションにする②先端の回転ノブをまわし、開けっ時間を調節する③表示部の日盛が移動し、開けっ時間を表示する。小雨といってもさまざまな降り方がありますね。この無段開けつ式ワイパーは、その小雨の降り具合に合わせて開けっ時間を調節できる一歩進んだワイパーです。開けっ時間は、約4秒～12秒までコントロール可能。雨量に応じた開けっ時間が選べます。1400TS-Gに装着されています。



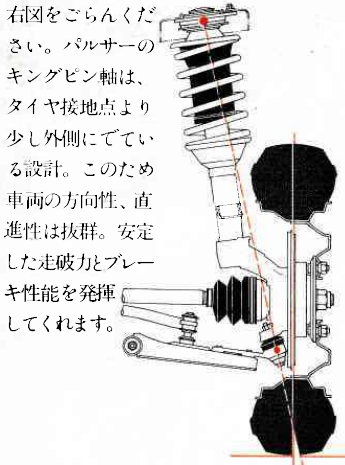
**Q-10** ブレーキシステムに関して“ゼいたく”はないと思うが

バルサーもそう考えました。前輪には大型マスターバックを備えたディスク式を、後輪には、常に安定したペダルフィーリングが得られると同時に、クリアランス調整が不要なオートアジャスター機構付きのリーディングトレーリング式を採用(カスタムを除く)。高速からのブレーキングや下り坂での連続使用にも確実な制動力を発揮してくれます。さらに、ブレーキ液が規定量以下になると点灯し、ドライバーに注意を促すブレーキ液量警告灯...を装備するなど、安全に停るための高度なブレーキシステムを準備しています。



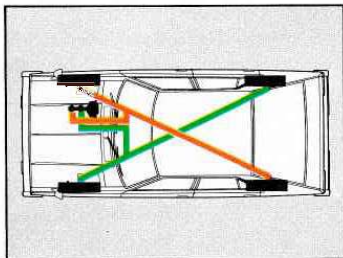
**Q-11** ネガティブ・スクラブ!? むずかしい専門用語じゃないの

聞きなれない言葉かもしれませんが、でもクルマの安全度の面から見ると、決して無視できない機構なんです。ちょっと専門的になるのをお許しください。キングピン軸がタイヤ接地点よりも車両内側にある場合をプラス・スクラブ、外側にある場合をネガティブ・スクラブといいます。このスクラブ半径は、小さく、しかもネガティブの方が制動時において車両安定性が良く、また悪路ではキックバックが減少するという構造上の特長をもっています。



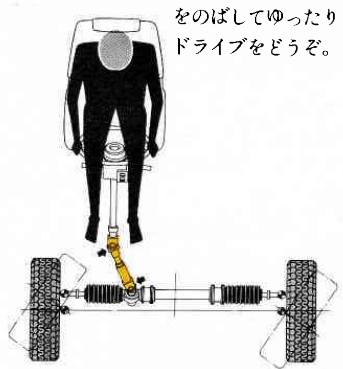
**Q-12** 前後配管が一般的なのになぜX配管にするのか

ブレーキの油圧系統を2系統に配管する。どんなクルマでも行なっていることです。もちろんバルサーのブレーキも2系統油圧式です。ところが普通のクルマと、その配管のやり方が違ってきます。いままでの方式は、前後に油圧系統を分けるやり方。しかしバルサーは、下図のように左前輪と右後輪、右前輪と左後輪というようにアルファベットの「X」字型に油圧系統を配管しています。名づけて“ブレーキ安全型X配管”。これも、安全な運転のための新機軸のひとつ。前項で紹介したネガティブ・スクラブとともに万一、片方が不調をきたしても確実な制動力が得られ、安全に停止できます。



**Q-13** F.F.車、ドライビング・ポジションに問題はないか

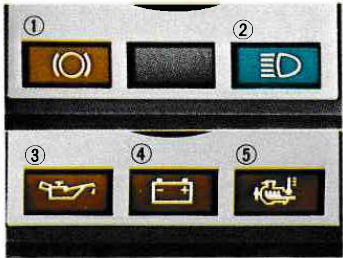
かつてF.F.車は、運転姿勢がきゆうくつだ、ペダルレイアウトにクセがあるなど、そのドライビング・ポジションに問題があるとされてきました。ニッサンバルサー。このF.F.の課題とされたドライビング・ポジションを見事に解消しています。ハンドルをドライバーの正面にセットするために2ジョイントステアリングを採用。しかもペダル類を適正な位置に配置。走り出すと新しいF.F.のドライブフィーリングが味わえることでしょう。きゆうくつな運転姿勢よさようなら。手を、足をのばしてゆったりドライブをどうぞ。



**Q-14** ちらっと見て判読できるのは、やっぱり絵表示式さ。バルサーは?

燃料計、水温計はもちろん、すべての警告灯が絵表示式です。しかも万国共通の表示方式で...

- ①<ブレーキ液量警告灯>  
ブレーキの液量が規定量以下になると点灯して注意をうながします。(駐車ブレーキ警告灯も兼用しています)
- ②<ハイビーム指示燈>  
ヘッドランプを走行ビームにすると点灯します。
- ③<油圧警告灯>  
エンジンオイルの油圧が低下すると点灯し注意をうながします。
- ④<充電警告灯>  
バッテリーが充電しない状態になると点灯し注意をうながします。
- ⑤<排気温度警告灯>  
排気温度が異常に上昇すると点灯し注意をうながします。



**Q-15** ニッサンスポーツマチックの特長を具体的に知りたいんだが

ニッサンスポーツマチックは、発進、加速減速を無段変速できる新しいタイプのオートマチックです。ギヤチェンジのショックはなく、またアクセルを緩めた時に変速することもなし。ドライバーのアクセルワークどおりに加速、減速します。しかもシフトパターンはスポーティなH型。マニュアルミッションのシフト感も、アクセルとブレーキの2ペダルで味わえます。

<各ポジションの説明>

R=リバース。バックする時に使用してください。  
P=パーキング。  
D=レンジにシフトすると、前輪は自動的にロック。駐車ブレーキと併用すると急な坂道での駐車も安心です。  
N=ニュートラル。  
L=ロー。  
急坂での発進や登坂、下り坂など、強いトルクやエンジンブレーキが必要な時に使用してください。  
D=ドライブ。  
発進、加速、減速など通常の走行は、このDレンジですべてO.K.です。  
OD=オーバードライブ。  
ギヤ比は0.726。高速走行時に使用してください。静かで燃費の良い経済走行ができます。  
〔注〕  
●エンジン始動はP/Nレンジでできます。  
●排出ガスレベル、燃費を良好に維持するため、発進は原則としてLレンジを使用してください。また、ギヤチェンジの際はアクセルペダルを離してチェンジしてください。



# スーパードライバビリティ